

# 宮内新横浜線の整備と新吉田第四自治会への取付道路 (市道新羽第138号線)に関する現状報告会開催概要

## 1 開催状況

日時	会場	出席者数
平成23年9月10日(土) 午後4時～6時	新吉田地域ケアプラザ (港北区)	35名

## 2 主催者

横浜市 道路局 建設部 建設課

## 3 現状報告会での質問・意見等

### 《事業の進め方について》

- ・今回はあくまで現状報告というのであれば、次回の説明会が年内というのは遅すぎる。
- ・新吉田線の都市計画決定時は、自治会役員だけへの説明だけで、地元の下承を得たと判断するなど乱暴だったが、今回は誠意があると感じている。
- ・案が固まる前の段階で住民に提示し、出てくる意見を取り入れて設計して欲しい。その方が、手戻りが少なくなる。
- ・開通を5年から7年延伸するとのことだが、その間のスケジュールを示してほしい。それらをホームページに掲載すればみんなで情報を共有できる。

### 《計画案について》

- ・平成7年に、市から自治会へ、宮内新横浜線を団地側へ8m寄せる申し入れがあったと記憶している。その時に線形を変更したのではないか。
- ・新吉田線の接続が考慮されていない。
- ・第3案(本線嵩上げ案)は、沿道宅地から宮内新横浜線に乗り入れできない区間が生じるそうだが、どのように検討を進めていくのか。
- ・第3案は沿道宅地の出入り確保を前提とし、どこまで本線を上げられるのかを検討すべき。
- ・第3案で、沿道宅地への出入りができる高さを考慮して、さらに1案、2案と組み合わせるなど、1、2、3案の利点を取り入れたミックス案を検討できないか。
- ・第4案(本線掘割構造案)は課題が多いが、諦めずに知恵を絞って欲しい。
- ・4案それぞれメリット、デメリットの説明があったが、全て車主体の話。歩行者の立場で配慮した計画案を示して欲しい。
- ・第四団地からの歩行者が遠回りして宮内新横浜線に出る案もあったが、住民の生活破壊になるような案は納得できない。

※報告会での質問・意見等を抽出し、分かり易い表現でまとめました。